

マルクス学長ストラップ販売

NES名古屋キャンパス店・丸善南山大学瀬戸キャンパスショップにて、マルクス学長のストラップを販売している。学長任期最後の年である今年度中の限定販売。学生の間にとどまらない人気の大学グッズとして、話題を集めている。
http://www.nes-web.co.jp/



南山小学校起工式

2008年4月開校予定の南山小学校起工式が4月20日に行われた。総面積は19,106.18㎡、地下1階、地上3階建て延べ約9,300㎡の校舎の建設を予定している。
5月12・13日には第1回説明会を開催、続いて7月8日に第2回を開催する。第3回以降については、随時南山小学校公式Webページ



にて告知、ハガキまたはWeb登録にて申し込みを受け付ける。
http://www.nanzan.ac.jp/shogakko/index.html

法学部開設30周年記念

南山大学法学部開設30周年を記念して、9月8日に名古屋キャンパスB-11教室にて、記念講演会およびシンポジウムを開催する。基調講演はオーストラリア国立大学法学部教授兼日本研究センター長、ケント・アンダー

ソン教授の日本語による講演を予定。シンポジウムでは卒業生の池田信彦氏(名古屋地方裁判所判事)佐藤美樹氏(金沢大学法科大学院教授)川口哲生氏(株式会社・エンターテインメント代表取締役)を迎える。

法曹実務教育研究センター開設



今般、南山大学法曹実務教育研究センターが開設された。本センターは南山大学在籍中に医療過誤の犠牲となられた、故稲垣克彦氏のご両親の寄附による基金創設を契機に設置されたもので、本センターでは法科大学院の学生のための実務教育の一環として「医療事故相談」と「子どもの人権相談」を中心に弁護士による無料法律相談を実施する。お困りの際は同センター直通(052-832-8197)までお気軽にお問い合わせを。

南山大学 歴代学長紹介

本年度、南山学園の創立75周年を迎えるにあたり、これまでの大学の歩みを歴代の学長とともに振り返ります。

初代学長 アロイジオ・パツヘ神父

昭和24(1949)年、名古屋外国語専門学校を引き継ぐ形で、南山大学が開学しました。

初代学長に就任したアロイジオ・パツヘ神父は、南山中学の創立者であるJ・ライネルス氏の補佐役として招聘され、南山中学校校長、大学の前身である外国語専門学校初代校長を務めました。将来的には日本の重要なビジネス・センターとして、外国語教育に対する需要の急増が見込まれることを予測し、外国語専門学校の設立、そして新制の四年制大学に転換することに尽力しました。構想段階からすでにアカデミズムを重視した総合大学であることを理想に掲げ、開学当時の文学部英文・仏文・独文・中国文の1学部4学科から、翌1950年には哲学科と教育学科、社会学科を、1952年には社会科学部を増設、その実現と発展に寄与し、現在の南山大学の基礎を確立するに至ります。



アロイジオ・パツヘ神父
1903年ドイツ生まれ
在任期間:1949年～1957年
所属:文学部教育学科

Special events

卒業式

2006年度卒業式を3月21日、名古屋市総合体育館レインボーホールにて行い、2049名(学部生1896名、大学院生153名)の卒業生を社会へと送り出した。



入学式

2007年度入学式を4月1日、日本ガイシホール(旧レインボーホール)にて行い、学部生2225名、大学院生198名の入学者を新たに迎え入れた。



Information

名誉教授称号授与

南山大学は、今春退職された人文学部寺田邦昭教授、外国語学部MAYER, David教授、大岩勉教授、玉崎孫治教授、岩野一郎教授、総合政策学部SELAND John教授、数理情報学部長谷川利治教授の7氏に対し、永年の功績を称え名誉教授の称号を授与した。授与式は4月2日、学長室にて行われた。



2007年度新任用教育職員

人文学部
教授 後藤 明(専攻分野:文化人類学、民族考古学)
講師 平川 武仁(専攻分野:体育科学・運動心理学)
外国語学部
准教授 中村 元哉(専攻分野:中国近代現代史、東アジア国際関係論)
講師 花木 亨(専攻分野:コミュニケーション・スタディーズ)
講師 山岸 敬和(専攻分野:アメリカ政治、政治学、都市政治、公共政策)
経営学部
准教授 上野 正樹(専攻分野:経営戦略論、製品開発論)
総合政策学部
講師 DEACON, Bradley(専攻分野:英語教育学)
講師 寺島 啓子(専攻分野:日本語学、日本語教育)

退職

2007年3月31日付
人文学部
教授 岡崎 才蔵
教授 寺田 邦昭
外国語学部
教授 岩野 一郎
教授 玉崎 孫治
教授 MAYER, David
教授 大岩 勉
経済学部
助教授 宮澤 和俊
法務研究科
教授 町村 泰貴
総合政策学部
教授 SELAND, John
講師 伊藤 由香
数理情報学部
教授 長谷川 利治
教授 國田 寛
講師 井垣 宏

学位

渥美 紀寿 講師 数理情報学部情報通信学
博士(工学) 名古屋大学
2007年1月31日付
中道 上 講師 数理情報学部情報通信学
博士(工学) 奈良先端科学技術大学
2007年3月23日付
杉原 桂太 講師 数理情報学部情報通信学
博士(学術) 名古屋大学
2007年3月23日付

寄付者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

ホクト商事(株)様
南山大学漕艇部様
今泉 肇 様
梅村 忠直 様



南山大学

発行 学長室
〒466 8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone : 052 832 3113(直通)
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp
http://www.nanzan-u.ac.jp

NANZAN bulletin vol.161 2007.6.30



表紙:第48回上南戦

南山大学連続講演会

「教養教育への扉」

南山大学は「キリスト教世界観に基づく学校教育」を建学の理念とし、「人間の尊厳のために(Hominis Dignitati)」という教育モットーを掲げ、教育・研究をおこなっています。普遍的な課題、あるいは具体的かつ今日的な個別問題を学問横断的にさまざまな視野から検討し、それを実践に移していく教養を学ぶ科目のひとつとして「テーマ科目」を

開講しています。「テーマ科目」には「異文化との出会い」「生命と環境」「知識・言語と情報社会」「モダン」の系譜」の4分野があり、今年度はこの「テーマ科目」各分野より専任教員を講師に迎え、一般社会の皆様を対象に連続8回の講演会を開催します。ぜひ、この機会に本学の教養教育の魅力に触れてみてください。

第3回 7/14(土)
総合政策学部総合政策学科
藤原 道夫 教授
働くことの意味・勤労観の変遷・

第6回 10/20(土)
外国語学部フランス学科
森 千香子 講師
「フランス郊外暴動」とグローバル化

第4回 7/21(土)
人文学部人類文化学科
青柳 宏 教授
ことばの不思議 - 教わらないのに知っていること -

第7回 10/27(土)
総合政策学部総合政策学科
江田 信豊 教授
外来種の脅威 - 崩れゆく日本の生態系とオーストラリアに見る環境保護 -

第5回 8/25(土)
総合政策学部総合政策学科
渡辺 義和 准教授
会話から学ぶ文化・異文化

第8回 11/17(土)
人文学部心理人間学科
林 雅代 講師
子どもの近代・家族の近代

第1回6/16、第2回6/30は終了いたしました。

場 所: 南山大学 名古屋キャンパスB-11教室(住所:名古屋市長区山里町18)
時 間: 14:00～16:00
定 員: 各講演400名(先着順・無料)
申込 期間: 各講演開催日の1週間前に締切
申し込み方法: 受講を希望される方は、ハガキ、FaxまたはWebページにて住所、氏名、年齢、電話番号、希望講演日を明記のうえ、南山大学学長室までお申込みください。(電話によるお申込みは受け付けません。)
受付終了後、順次受講票をお送りします。
http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/koho/koenkai/2007/index.html
問合せ先: 南山大学学長室 052-832-3113

2005年度・2006年度南山大学連続講演会「講演集」のご案内
皆様にご好評いただいた2005年度・2006年度の連続講演をそれぞれ冊子にまとめました。
2005年度「人間の尊厳のために」 四六版・240P
2006年度「学科長が語る南山の現在」 四六版・346P
この機会にぜひお求めください。詳しくはこちらでご確認ください。
http://www.nes-web.co.jp/

2006年度学長表彰

卒業予定者のうち品行方正で在学中継続して学業、または課外活動で特に優れた成績を修めた学生や特に顕著な善行のあった学生などに授与される学長表彰。今回は31名が受賞した。受賞者にはその努力と榮譽を称え、3月20日、学長から表彰状が手渡された。

【人文学部】	7名	【法学部】	3名
【外国語学部】	7名	【総合政策学部】	4名
【経済学部】	3名	【数理情報学部】	4名
【経営学部】	3名		

2007年度学部長表彰

年度ごとに品行方正で学業に優れた成績を修めた学生を表彰する学部長表彰。今回は124名が受賞した。受賞者の去年1年間の努力を称え、5月16日(総合政策学部のみ5月9日)に表彰式が行われた。

【人文学部】	21名	【法学部】	15名
【外国語学部】	24名	【総合政策学部】	21名
【経済学部】	15名	【数理情報学部】	14名
【経営学部】	14名		

特集

FEATURE ARTICLE

南山大学 グランドデザイン

南山大学では、2005年4月1日付「理事長基本方針」で示された20年後の将来像検討要請を受けて、今後どのような方針で、どのような方向に向かっていくのか、20年先を見据えてどのようにしていきたいのかについて、2005年12月より学内にワーキンググループを立ち上げ検討してきた。学内構成員へのインタビュー、他大学調査を含めた現状分析を経て、建学の理念の再解釈を行い、将来の社会変化予測を踏まえて将来ビジョンを定め、このたびひとつの方向性をまとめたので、ここで紹介する。



改革方針

20年を3期に分け1期ごとに改革計画を提案
各側面から中・長期計画を検討



今後20年間に予測される大きな社会の変化		
さらなる国際化	少子高齢化	生涯二転職四学習 ^{*1}
国際教育	学生サービス	ユニバーサル受け入れ体制の確立
他者・異文化理解を軸とした国際教育 語学・国際性でのブランド力といった本学の強みを活かした国際教育 海外の大学等の諸機関との連携を緊密化	奨学金制度の充実 メンター制度 ^{*2} 就職支援 居場所づくり	年齢・国籍等多様な学生を受け入れる体制 東海地区での募集体制の充実と強化 国内他地域での募集体制の再検討
人格教育 宗教教育 ・キリスト教的哲学 ・職業倫理 ・生命倫理	^{*1} :生涯二転職四学習...国の経済財政諮問会議の「日本21世紀ビジョン」の中で提唱されている概念。一生涯で2回転職、就職前、転職の間の2回、引退後の計4回の機会に学習すること。国民が年齢に関係なく意欲と能力に応じ、多種多様な就業形態や学習機会を選択できる社会を築いていくことの重要性を唱えている。 ^{*2} :メンター制度...日頃のコミュニケーションを通して、先輩の立場から自らの経験を踏まえて後輩の相談に応じ、個人レベルでのサポートを可能にする制度。	

ビジョン・キーフレーズ 「個の力を、世界の力に。」

本学は、建学の理念を「キリスト教世界観に基づく学校教育を行ない、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」とし、そこに具体的な方向性を与えるために「人間の尊厳のために」という教育モットーを掲げています。将来、様々な領域で社会の大きな変化が予測されますが、本学のミッションは揺るぎなく「人間の尊厳のために」がその中心となります。「人間の尊厳」とは何か、それをどのように具現化していくかについて検討を重ね、このたび、ビジョンを「人種、障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生・協働することで、新たな価値の創造に貢献する」と掲げ、それを端的に表すキーフレーズを「個の力を、世界の力に。」と策定しま

ビジョン実現のための中長期目標

1 教育目標
ユニバーサル受け入れ体制を確立し、ビジョンを実現した大学として、世界から選ばれ世界に人材を輩出している大学になること。

本学は、優秀な留学生を多数受け入れ、留学生比率(学部、大学院)が高い国際的な大学としての評価がさらに高まっている。そして、「年齢、価値観等の壁を越え、人間の尊厳を尊重し、推進できる人材」を輩出している。それらの人材は、国際機関、多国籍企業、国内企業の海外部門だけでなく、あらゆる機関・組織で活躍していることを目標とする。

2 研究目標
人間の尊厳を尊重し、推進するための先駆的研究を行い、学際的な共同研究の拠点として、新たな学問的価値を創出すること。

ビジョンに関連する研究分野において、世界各地の研究所や研究者とのネットワークが構築され、学際的な共同研究や人的交流の拠点となり、新たな学問的価値を創造する大学として世界から認知されることを目標とする。

3 社会貢献目標
ビジョンを具現化する社会貢献の拠点として、地元で最も愛される大学となること。

様々な社会的役割をもつ人々が集まり、知の協働が生まれる拠点として、地域から高い信頼を得ていることを目標とする。

改革テーマ

3つの目標を実現するための4つの改革テーマ

1 教育対象の幅の拡大
年齢・国籍を問わない日本人以外あるいは日本語を母語としない人も対象

↓

そのためのキャンパス使用形態の検討
募集制度改革、ユニバーサル受け入れ体制の実現など

3 教育・研究を中心とした社会貢献のさらなる強化

2 学問領域の幅の拡張
理系分野の強化

4 地域・企業・卒業生・海外との共生・協働の強化
5万人規模の同窓生・卒業生との連携
外国人留学生別科卒業生の同窓会組織作り
例)大学院人間文化研究科言語学専攻の取組み(平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(文部科学省)に採択)

した。ここには、本学は世界から選ばれ、世界に人材を輩出することができ、地域に根ざしていると同時に世界に開かれている大学になっているのだという願いを込めています。このように、様々な違いを認識し多様性を尊重した新たな価値の創造は、今後、世界的にも重要な価値観のひとつとなるでしょう。人間の尊厳 自分自身と他者の尊厳を尊重し、それを指針に生き、推進していく人々が共生・協働することにより「個の力」が結集され、世界に貢献できる「世界の力」となります。本学が教育・研究・社会貢献を通じて実現するのは、「個の力」が練磨され、新たな価値を創造する学的共同体であり、「世界の力」として世界に貢献できる人材の育成であると考えます。

International Friendship

I am proud of Japan. 村山 理沙(数理科学科4年)

私は昨年、「ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ」という経済産業省が中心となり進めている海外のインターンシップに参加し、イギリスのコンタクトレンズの会社で1年間の研修を行いました。毎年全国で20人の理工学系の大学生が選ばれ、将来的に日本とEU諸国とを結ぶための架け橋になるような人材を育てることがこのプログラムの主な目的です。



私はこのインターンシップにおいて、工場の生産ラインの様々な問題点を見つけ、その解決方法を提案する仕事を手がけました。ヨーロッパでは、直接作業の方から話を聞くために、毎日工場に行くということが珍しいと共に、自分のマネージャに逐一全てを報告するという習慣がありません。しかし、たくさんの方からプロジェクトへのアドバイスをいただくために、毎日実際に工場へ行き作業の方と話すことに努め、さらに毎週レポートやプレゼンテーションを作り報告しました。また、このプロジェクトの達成目標に向け、私は、「ビジネスを円滑に進める上でのコミュニケーション能力」の向上を図ることに力を入れました。そこで私はまず相手の立場にたって意見を聞くこ

と、そして相手から質問をされた時に、もし適切な返答ができなかったら、しっかりと答えを用意し必ず物事をあやふやにしない対応をすることを心がけました。そうすることにより、お互いにより良い信頼関係を形成することができ、積極的に私のプロジェクトに対しても協力してもらえるようになりました。

私生活においても1人暮らしをするのではなく、ホームステイをしたり、ダンススタジオへ通ったり、さらにボランティア活動に参加したりと、長期にわたり海外に住めるからこそ得られる利点を最大限に活かしました。その一方で、銀行の現地口座をひらくための手続きをしたり、自転車が盗まれたためイギリス警察へ行き調書をとりに行ったりと、慣れない土地での思いがけない出来事もたくさん経験しましたが、積極的に行動したことにより、たくさんの信頼ができる友人を作ることもできました。



海外で得られたこれらの経験は将来私がビジネスを行う時も、自信となり大きな心の支えになってくれると思います。そして、日本の外に出たことにより、日本が本当に住みやすい国であることや日本には大切に守られてきた伝統や豊かで彩り豊かな文化が存在すること、そして何より、俺びと寂びを重んじる日本の心が大変かっこいいことに気づかされ、自分が日本人であることに大きな誇りを持つことができました。語学力等が向上した以上に、自分自身のアイデンティティについて考えることができたことにとても意義を感じています。

Campus Topics

第48回 上南戦 総合成績 13勝15敗0引き分け

関東を中心とした麻疹の流行によって、参加学生全員に予防接種が義務づけられるなどの措置がとられる中、両大学ともに健闘した結果となった。	洋弓	女子	南山	交流戦	上智
ヨット	南山	中止	上智		
自動車	南山	中止	上智		
陸上競技	南山	29 - 45	上智		
軟式庭球	男子	南山	交流戦	上智	
	女子	南山	3 - 2	上智	
硬式野球	南山	2 - 0	上智		
ゴルフ	南山	4 - 1	上智		
ラクロス	男子	南山	1 - 12	上智	
	女子	南山	9 - 1	上智	
バスケットボール	男子	南山	65 - 106	上智	
	女子	南山	81 - 51	上智	
サッカー	南山	0 - 1	上智		
弓道	男子	南山	77 - 87	上智	
	女子	南山	46 - 36	上智	
洋弓	男子	南山	交流戦	上智	
	女子	南山	3 - 6	上智	
	女子	南山	2 - 5	上智	
卓球	男子	南山	4 - 1	上智	
	女子	南山	上智の反則負	上智	
バレーボール	男子	南山	0 - 3	上智	
	女子	南山	1 - 3	上智	
水泳	南山	250 - 289	上智		
柔道	南山	4 - 1	上智		
アメリカンフットボール	南山	0 - 10	上智		
準硬式野球	南山	5 - 6	上智		
剣道	男子	南山	4 - 1	上智	
	女子	南山	1 - 2	上智	
アイスホッケー	南山	2 - 5	上智		
バドミントン	男子	南山	1 - 4	上智	
	女子	南山	5 - 0	上智	
ラグビー	南山	24 - 20	上智		
ハンドボール	男子	南山	31 - 25	上智	

犯罪防止のための環境設計

高橋 洋子

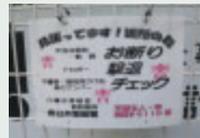
たかはし・ようこ
数理情報学部
情報システム数理学科准教授



私の現在の研究テーマは「住環境の防犯設計について」です。

日本の刑法犯認知件数は2002年にピークを迎え、その後減少に転じているものの長期的には増加傾向にあります。この犯罪の増加は住宅地においても同様で、特にアパート・マンションなどの集合住宅において顕著です。

かつて集合住宅は、鍵1つで容易に戸締りが可能で、また高層階では窓からの侵入が難しく、犯罪には強いと考えられてきました。しかし1970年代になると、集合住宅の犯罪に対する脆弱性が現れるようになりました。入居者同士の交流が少ないためそ者が自由に出入りでき、避難階段やエレベーターなど死角となる共用空間は薬物取引や性犯罪、破壊行為の行われる場所となります。また近時ではピッキング犯罪が増加し、人の目が少ない高層住宅における窃盗も増えています。



このような状況に対して、環境の適切なデザインと効果的な使用によって犯罪に

対する不安感と犯罪の発生を防ごうという研究が「CPTED(環境設計による犯罪防止)」です。

例えば、錠前の数を増やして犯罪対象を強化すること、オートロックで住人以外のアクセスを制御することが挙げられます。敷地内の歩道の色を変え、背の低い植込み、門扉のない門・アーチを設置すれば、物理的に侵入できても心理的に侵入しにくい、安全かつ開放的な環境を作ることができます。

死角をなくし監視性を確保するには、共用スペースに防犯カメラを設置したり、エレベーターに小窓を付けたりする方法もありますし、共用スペースの見通しを良くし明るくすることで、自然的監視性を確保することも重要です。また同じエレベーターや廊下を共有する戸数を減らすことで、不審者の識別を容易にすることができます。

また、環境設計の効力を高める主体は居住者であり、警察や地域との連携を前提とした居住者の「自衛意識」をいかに引き出すか、環境設計とあわせてまちづくりのあり方について研究を行っています。

インベストメント

竹澤 直哉

たけざわ・なおや
ビジネス研究科
ビジネス専攻講師



「インベストメント」は、2006年4月に新設された南山ビジネススクール(NBS)の選択科目です。主な履修者は、NBSでファイナンス&アカウンティングプログラムをメジャーに選択した学生ですが、投資の理論や考え方に興味を持つ学生も履修しています。週末および夜間に行なわれる社会人向けのビジネススクール授業であるため、仕事帰りの学生が学習意欲を持ち続けられるように努力しています。社会人の学習ニーズは多様であり、日々刻々と変わる社会情勢と同様、変化していきます。こうしたニーズに少しでもこたえられるように、講義形式の授業形態にこだわらず、学生の興味を引き出しやすい討論形式やケースメソッドなどを利用し、プレゼンテーションも取り入れるようにしています。授業では、個性性の高

い事例・質問を通して、インベストメントの基本的概念と理論を学べる環境の提供に重点をおいています。

「インベストメント」の授業は、資本市場とそれに付随するポートフォリオ理論などを交えながら、リスクとリターン(収益)という二つの概念を「投資家」と「企業」それぞれの立場から見た場合について学びます。2年間(または3年間)ある履修過程の中で、1年次に位置する科目であるため、複雑な理論は必要最小限に絞り込み、計算事例や事例研究を熟慮することによって、理解度を高めることを大切にしています。理論を平面的に捉えることを避け、多面的に理解することを目指しています。



受講生にスキルとしての「インベストメント」だけでなく、背景にある思考法を学んで欲しいと考えています。また、これらのスキル・思考法を携えた学生が社会・地域に幅広く貢献することを願っています。

私のクラス